

# 南部町の特産 初出荷

## 《イチジク》

8月17日、JA鳥取西部農協西伯支所で、平成22年産イチジクの初選果が行われ、JA西伯支所いちじく生産部代表・野口康夫部長の7軒が、その日の朝に収穫したイチジクを市場に初出荷しました。一部直売もあります。ほとんどは米子市内の青果市場を通して販売されます。南部町の特産となったおいしいイチジクの出荷は11月まで続きます。



## 《二十世紀梨》

8月29日、市山にあるJA鳥取西部あいみ果実部の選果場で、平成22年産二十世紀梨の初選果が行われ、あいみ果実部代表・赤井富雄部長の19軒が新鮮な二十世紀梨を初出荷しました。春先の低温で収穫量は前年より2割ほど減る見込みですが、夏場の猛暑で糖度が増したそうです。地元向けに選果場での直売もありますので、みなさんぜひご利用下さい。



## おめでとう!

### 南部中学校吹奏楽部

8月8日、とり

ぎん文化会館で「第50回全日本吹奏楽コンクール鳥取大会」が行われ、南部中学校



来年も金賞目指します!

吹奏楽部(部員21名)が中学校B部門に出場しました。

ワイリアムズ作曲『プレントウッド・パス』を演奏し、見事2年連続で金賞を受賞しました。

生徒達は「一生懸命練習して、楽譜も真っ黒になったから大丈夫!と自分に言い聞かせました。感謝の気持ちでいっぱいです。」「楽しく演奏できたし悔いはありません。すごくいい思い出になりました。1、2年生には来年も金賞を目指してがんばってほしいです。」と、それぞれの思いを心に刻みました。

## 鳥大生が南部町視察

8月27日(金)、鳥取大学地域学部・地域教育学科、地域政策学科、地域文化学科の学生12名が、南部町教育の取組みを視察しました。会見小学校6年生の児童と一緒にそばの種まきをした後、会見小地域学校運営協議会(コミュニティ・スクール)岡田昌孫会長、あいみ学校応援隊(GTA)永栄英夫会長から、現在までの活動状況や『地域の子どもたちとおじいちゃん、おばあちゃんがどのように関わっているのか』などの話を聞きました。

卒業後は学校や官公庁への就職を目指す学生たち、地域の人々がいかに学校運営に貢献しているのかを学び、その活き活きとした活動ぶりが大学生たちの心を捉えていました。



田住の田んぼでそばの種まき